

講演論文の原稿作成要領

1. 原稿の構成

- 1) 原稿は2ページとします。Microsoft(R) Word(R)等で作成し、PDF ファイルに変換して提出してください。
- 2) 原稿 PDF ファイルは電子投稿システム (<http://www.jseg.or.jp/jseg-congress/upload.cgi>) により投稿してください。投稿の際の PDF ファイル名は、下記の例のように「講演番号の3桁の英数字_発表者名字のローマ字表記」としてください。
(例)
口頭発表の発表番号1番の佐藤さんの場合は 001_satou.pdf
口頭発表の発表番号12番の高橋さんの場合は 012_takahashi.pdf
ポスター発表の発表番号1番の鈴木さんの場合は p01_suzuki.pdf
ポスター発表の発表番号12番の山口さんの場合は p12_yamaguchi.pdf
- 3) PDF ファイルのサイズは3.0M バイト以内とします。
- 4) 原稿は別添のフォーマットを利用し、A4判で作成してください。原稿はそのままの大きさ、レイアウトで印刷されます。
- 5) 原稿には、プログラムに示された論文番号・表題と著者の氏名・所属を記入し、発表者名の前に○印を付してください。ポスター発表の場合は論文番号の前にアルファベット大文字の「P」を付してください。
- 6) 表題は第1行目の中央とし、1行あけて氏名・所属を行の右端に寄せて書き、さらに1行あけ、本文としてください。

2. 原稿の書き方

- 1) 原稿は原則として和文とします。
- 2) 講演論文集には、提出していただいた PDF ファイルを白黒印刷したものを掲載いたします。カラー原稿を提出する場合は、白黒印刷した場合にも図表等が明瞭な原稿を作成してください。なお、講演論文集には各原稿の PDF ファイルを収録した CD-ROM を付属いたします。この CD-ROM にはカラー原稿のまま掲載いたしますのでカラーを有効にご活用ください。
- 3) 余白は上下左右すべて 20mm とし、24 文字×50 行の 2 段組みで作成してください。2 段組み以外の原稿は受けませんのでご注意ください。
- 4) 文字サイズは論文番号および表題（和文）は 14 ポイント、その他は 9 ポイントを使用してください。
- 5) 現代仮名づかいを用い、漢字は原則として常用漢字を使用してください。ただし、固有名詞や広く用いられている慣用の語はこの限りではありません。本文中の人名には敬

称を付けないでください。

- 6) 本文中に外国語を挟むことはできるだけ避けてください。ただし、適当な訳語がない術語や固有名詞はこの限りではありません。
- 7) 句読点は全角カンマ (,) と全角ピリオド (.) を使用してください。また、カタカナは全角文字を、英数字は半角文字を使用してください。
- 8) 単位は完全 SI 表記とします。SI 表記以外の原稿は受け付けませんのでご注意ください。
- 9) 図表および写真にはすべて、図 - ○, 表 - ○, 写真 - ○ のように番号を付けてから表題を入れてください。表題の位置は、図・写真の場合は下、表の場合は上とします。
- 10) 図表・写真はなるべく本文の説明箇所と離れていない位置に挿入してください。
- 11) 図表は、論文の目的に合致した鮮明なものを用いてください。**画像については、解像度が 300~350dpi のもの**を用いてください。
- 12) 引用した文献は引用順に番号を付け、本文末に一括して記載してください。本文中には、引用箇所に上付き文字で 1), 2) … のように記載してください。

3. その他

- 1) 原稿投稿期限：口頭発表およびポスターセッションともにこの原稿作成要領に沿って原稿を作成し、**8月9日（金）までに電子投稿システムにより提出してください。**
- 2) 内容は当学会の論文投稿規定に順じて、発表者の責任で万全を期してください。
- 3) 不明な点がございましたら学会事務局までご連絡ください。

問い合わせ先：日本応用地質学会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-14

お茶の水桜井ビル 7F

一般社団法人日本応用地質学会

TEL：03-3259-8232 FAX：03-3259-8233

E-mail：office@jseg.or.jp

以上

余白(上, 左) : 20mm

55. 割れ目帯検出のための物理探査手法

Geophysical Method for Detecting Fracture Zones

ポスターセッションの
場合は「P55」

○応用太郎 (△△大学), 応用次郎 (□□研究所)

Taro Oyo, Jiro Oyo

1. はじめに

物理探査は非破壊・簡便に地下構造を推定できることから、ボーリング等の掘削に先だって実施されることが多いが、あくまで間接的な地下構造推定方法であるため、その適用にあたっては複数の手法による結果を総合的に検討することが必要である¹⁾。

ここでは各種物理探査手法の特性を見直し、より高精度で付加価値の高い調査法とするため、火山岩地域で比較試験を実施した結果を報告する。

2. 調査の手順

本調査の対象地は、東北地方の新第三紀堆積岩を基盤とする

必ずといってよいほど適用されているが、そのための測定や解析手法は基本的には従来どおりの手法で続けられており、多くが手作業と経験を要する作業となっている。岩盤の弾性波速度は砂や粘土などの未固結地盤より速く、堆積岩では時代が古いほど速度が大きく、火山岩であれば地表近傍で固結した火山岩より地下深部で固結したもののほうが弾性波速度は大きい。したがって、地表から地下深部にゆくにしたがって弾性波伝播速度が速くなるという地下構造が存在している。屈折法は、地下深部ほど弾性波速度が大きくなるという仮定に立脚して地下探査を実施する。

測定に際しては各ピックアップの出力信号を記録するとともに、震源から波動が出た瞬間が記録されなければならない。震源から波動が出た瞬間の信号をさしてショットマーク²⁾と呼ばれている。ショットマークからそれぞれのピックアップに波動が到達するまでの時間が初動走時となる。ショットマークの精度は重要

24 文字

50 行

部、受信部、増幅部、記録部から構成されている。システムの構成を図-1に示す。土木地質調査に限らずこのようなシステムが一般に使われてきている。

現在でもトンネル、ダムサイト等の構造物調査には

る。爆薬を震源として用いる場合は爆薬を爆発させるために電気雷管に流す点火電流がショットマークとな

図-1 測定システムの構成

余白(下, 右) : 20mm

講演の要領

(1) 口頭発表時の注意点

1編あたりの持ち時間は15分、発表時間を12分程度、発表後の質疑応答時間を3分程度とします。また、セッションの最後に時間に余裕のある場合は、総合的な質疑応答時間を設ける場合があります。従って発表は、短時間でわかりやすいものとなるように、下記の要領により行ってください。また、発表終了後もセッションが終了するまで在席してください。

- ① Microsoft(R) PowerPoint(R) (以下、PowerPoint) を用いて、わかりやすく発表してください。
- ② 聴講者の専門度を考慮した発表・説明内容としてください。
- ③ 研究の要旨を明確にし、必要以上の情報はできるだけ省いてください。
- ④ 発表にあたっては、基本的な流れとして次の項目のように整理してください。
 - a. 研究の意義と位置づけ
 - b. 研究にともなう周辺知識のまとめ
 - c. 研究の方法
 - d. 得られた結果・興味深い知見と、その中の重要な成果の表示
 - e. 得られた成果の有用性
 - f. 今後の発展方向 など

(2) 口頭発表用 PowerPoint ファイル作成上の注意点

発表会場はかなり大きな室内で行われますので、以下の点に注意して PowerPoint ファイルを準備してください。

1枚のスライドの内容は1つのテーマの内容とし、約1分の説明内容としてください。

- ① 表や式は必要最小限とし、単純なグラフ、略図等を用いてシンボリックな表記を心がけてください。
- ② 線画や活字はできるだけ太くあるいは大きく表示し、必要のない部分はできるだけ省いてください。
- ③ 最後に「まとめ」を箇条書きにすると理解しやすいでしょう。
- ④ 図表等の説明資料にページあるいは番号を付けておくと質疑応答がスムーズに進められます。
- ⑤ 学会側はノート PC (OS は Windows7) のみ準備します。
- ⑥ 会場で用意するソフトは、パワーポイント [Microsoft(R)PowerPoint(R) 2007] を予定しています。
- ⑦ PowerPoint のファイルサイズは 20MB 程度までを目安としてください。
- ⑧ PowerPoint ファイル (PPT) は USB メモリに保存し、当日持参してください。また、当該ファイルおよび USB メモリは必ずウイルスチェックを行い、ウイルスに感染して

いないことを確認してください。 発表用 PC へのデータの移行はセッション開始前の休憩時に行うこととしますが、混雑を避けるため、会場開場後（9時5分頃）からセッション開始前までの時間や、昼休みの時間などを利用し、早めに移行していただいても結構です。なおPCへ移行したデータにつきましては、研究発表会終了後に事務局で責任を持って削除いたします。

- ⑨ 講演者所有のPC持参は、原則として認めません。

(3) ポスター作成および発表上の注意点

- ① ポスターセッションでは、A0 サイズの用紙を貼ることができるパネルもしくは壁のスペース（横：約90cm・縦：約120cm）を確保しますので、このスペース内にポスターの展示をお願いします。
- ② ポスターの展示時間は原則として10月24日（水）10：00から10月25日（木）16:00までとします。展示準備作業は10月24日（水）10：00から、撤収は10月25日（木）16：00までに行ってください。
- ③ 10月24日（水）13:30～14:30までを発表時間（コアタイム）といたします。この時間帯に、展示ポスターの前で発表していただきます。
- ④ 展示用のポスターは当日ご持参ください。事前の会場等への郵送はできません。また、撤収も各自でお願いいたします。
- ⑤ 机、電源等の特別な準備には応じられませんので、あらかじめご了承ください。
- ⑥ ポスターセッションでは、講演論文の内容、ポスターのデザインやプレゼンテーション等について厳正な審査を行い、特に優秀と認められた発表について表彰します。

以上